

株主の皆様へ 第90期第2四半期のご報告 (2018年4月1日～2018年9月30日)

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

現在、当社グループは、中長期経営計画『V2020』で掲げたあるべき姿を目指し、全力で取り組みを推進しております。

当期からはその最終フェーズにあたるフェーズ3をスタートさせております。これまで取り組んでまいりました三大チャレンジをファインチューニングし、経営環境の変化を捉え、継続的にイノベーションを成し遂げる体質を身に付け、『V2020』に掲げる目標達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

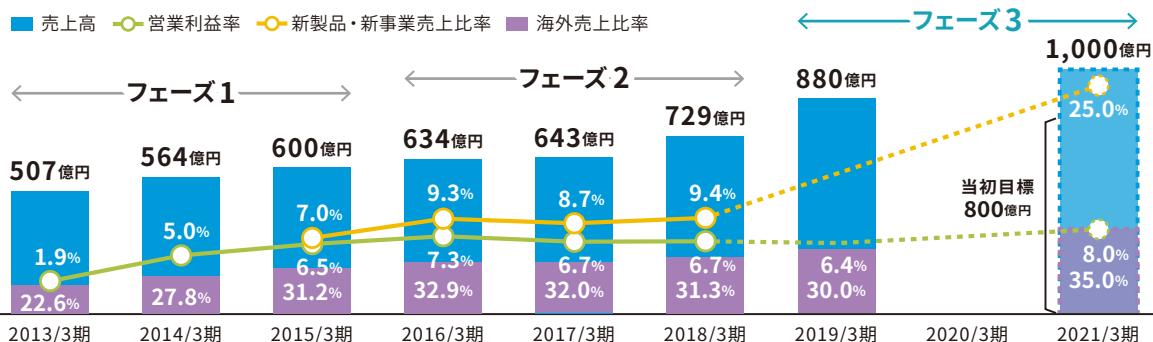


代表取締役社長 に っ た も と の お
新田 元庸

■中長期経営計画『V2020』フェーズ3

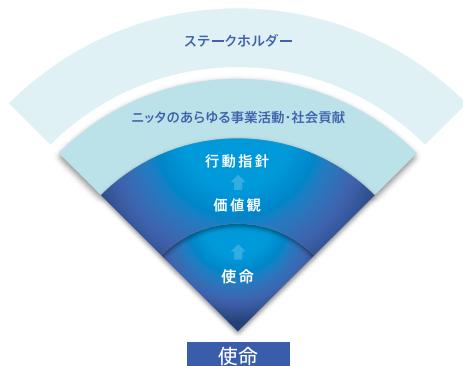
ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー

2020年度目標を**1,000億円**(新規事業を含む)に上方修正



配当還元方針：『V2020』フェーズ3の期間においては、連結配当性向20～30%を目安に安定的且つ着実な配当を継続実施いたします。

これまでの成果をもとに、 『V2020』のフェーズ3をスタート



社会・お客様に対するNITTAグループの役割

Going ahead with you

NITTAは動かす、未来へ導く製品で。
世の中を前へ、そして人々を幸せに。

価値観

使命達成のためにNITTAグループ社員が持つべき考え方

熱意 Passion
進取 Innovation
誠実 Integrity
敬意 Respect

行動指針

使命達成のためにNITTAグループ社員が取るべき行動

情熱をもって挑戦し、変化を起こしつつける
柔軟な発想とものづくりで、未来を切り拓く
ひたむきに取り組み、お客様の期待を超える
互いを尊重し、グローバルに社会や環境に貢献する

Q.1 まず、2018年3月にフェーズ2が終了しておりますが、その進捗・成果についてお聞かせください。

当社グループは、激動する経営環境を見据え、持続的成長を叶えていくために、2012年度を初年度とする中長期経営計画『V2020』を策定し、あるべき姿として、「ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー」を目指しています。

具体的なアクションプランとしては、期間を3つのフェーズに区切り、ニッタの新しい価値創造に向けた「三大チャレンジ」を推進しています。本年3月に終了したフェーズ2は、その真ん中の期間にあたり、フェーズ1で緒に就いた意識改革や取り組みから具体的な成果を生み出していくことが大きなテーマでした。

この観点から見ると、三大チャレンジのうち、「新事業・新製品の創出」については、浪華ゴム工業株式会社、ニッタ化工品株式会社などをグループに加え、医療・鉄道などの新しい事業分野への道を開きました。また、新製品については、カーボンナノチューブ(CNT)がスポーツ用品に採用され量産化が進むとともに、ロボットハンド(SOFTmatics)などの新技術が形になりつつあります。

「グローバル化の推進」については、タイの新会社開設、アメリカの工場拡張、インドの新工場の開所、メキシコの工場拡張など、着実に今後の発展の基盤を拡充しています。「トータルコスト競争力」についても生産現場の生産性向上はもとより、間接部門の効率化を図る1/2運動が定着し業務改革が進んでいます。

また、フェーズ2での特筆すべき成果として、企業の社会的存在価値を表す理念体系を整備し、その下で、ブランド戦略を強化してきたことで価値観の共有が進んできたことが挙げられます。

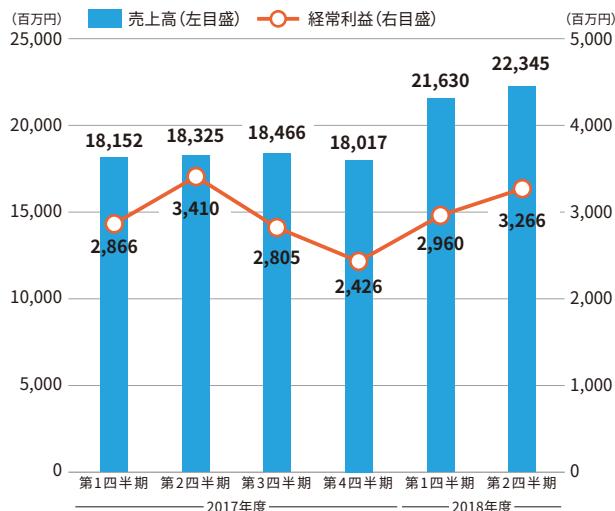
このような成果の下、目標数値に関しても、売上高700億円の目標値に対し、729億円を達成するなど、当初に想定していた目標はほぼ達成した感があります。

Q.2 フェーズ2の目標数値を達成された中で、当第2四半期累計期間の業績はいかがでしたか。

当期間は、米国の通商政策への懸念など不透明感も漂いますが、総じて世界経済は、緩やかな景気拡大が持続しました。これに伴い国内経済も、緩やかな景気回復が続きました。当社グループの主要需要業界においては、国内は物流業界や半導体製造装置などでの需要が旺盛に推移するとともに、海外では、欧米を中心に物流業界向け等が堅調に推移しました。

この結果、当期間の売上高は、前連結会計年度に東洋ゴム工業株式会社グループより株式を取得したニッタ化工品株式会社の寄与もあり、前年同期比20.6%増の439億7千5百万円となりました。また、損益面につきましては、営業利益が8.8%増益となったものの、為替の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比0.4%増となりました。

■売上高と経常利益の推移



なお、当第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、前年同期比6円増配の33円を実施しました。

下半期においても更なる売上高および利益の積み増しを図り、通期業績において過去最高の更新を目指していきます。

最終売上高目標を800億円から1,000億円に上方修正

Q.3 それでは、本年4月よりスタートしましたフェーズ3について概要をご説明ください。

フェーズ3は、中長期経営計画『V2020』の達成に向けた最終フェーズです。基本的にはこれまでのフェーズで展開してきた「三大チャレンジ」を進捗状況、外部環境の変化に合わせてファインチューニングすることで、成長軌道を維持していくと同時に、次なる成長に向けた新しい経営システムを浸透させていくことにあります。

ファインチューニングのポイントは、「新事業・新製品」の分野については、フェーズ1・2を通じて創出してきた芽を本格的な事業へと育て、成長ドライバーとして事業ポートフォリオに組み込んでいくことです。

「グローバル化」については、面の拡大や生産力の増強にとどまらず、グローバル企業グループとして胸を張れるように、社会との関係性を強く意識したマネジメントの強化を推し進めていきます。

「トータルコスト競争力」については、効率化を図る領域を広げていくと同時に、すべての工程を射程に入れた大胆な業務改革を進めていきます。

このようなファインチューニングの下、最終年度の目標値につきましては、近年の需要動向、前期末の業績や新規事業の進捗などを勘案し、当初(中長期経営計画発表時)の目標である連結売

上高800億円から1,000億円（うち新規事業比率25%）へと上方修正しました。

一方、ニッタは2020年度を越えて成長していかなければなりません。本中長期経営計画では2011年度の売上高544億円から2020年度目標1,000億円と9年間でほぼ倍となる売上高を達成しようとしています。このために多くの改革、リソースの移動などを行ってきた結果、兵站が伸びている箇所も見受けられます。また、マーケットは刻一刻と変化しており、『V2020』を達成したからといって留まるわけにはいきません。兵站を強化し、絶えずイノベーションを続けられる柔軟で強靱な企業体質の構築が不可欠です。フェーズ3ではこの自らを革新し続けられる新しい経営システムの浸透も目指していきます。

『V2020』フェーズ3の三大チャレンジ

1 新事業・新製品の創出と成長

- NITTA INNOVATION活動の推進による新事業・新製品の創出
- 新事業分野の成長とグループ間シナジーの最大化

2 グローバルマネジメントの推進

- NITTA ブランドの強化
- グローバル人材育成の促進
- コーポレートガバナンス、コンプライアンス、リスク管理の強化

3 トータルコスト競争力の向上

- 生産技術の革新
- 現場改善活動の進化
- 大胆な業務改革と効率化の推進

Q.4 柔軟で強靱、そして自らが変革し続ける上で、その源となる経営基盤の強化につきましてお話しください。

持続的成長を支えていく経営基盤の強化にあたっては、グループ事業が益々グローバル化する中で、ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理等の体制整備に努めています。働き方改革につきましても、日常の勤怠管理はもちろん、女性活躍やワーク・ライフ・バランスなどを推進しています。

このような中で、現在特に力を入れている取り組みは、グループ全体のパワーを生み出す価値観の共有と、人材の本質的活性化を呼び起こす健康経営です。この内、価値観の共有については2017年3月に新理念体系を策定し、グループ内外にNITTAブランドの浸透を図っています。また、健康経営については2018年6月に「健康経営宣言」を発表し、役職員全員に健康チャレンジ目標を定めてもらい、その実現を通して健全で熱意溢れる職場環境づくりを目指しています。

Q.5 最後に株主の皆様に向けたメッセージをお願いいたします。

“もっとみんなでワクワクしよう！”ニッタは今、大きく変わろうとしています。前述の通り中計最終年度売上高の25%を新事業・新製品で構成することを予定しており、時代の変化や製品のライフサイクルに合わせ事業ポートフォリオを変えていくことを進めています。

この先、2020年を越えて今から10年後には、現在では想像のつかない新事業を始めているかもしれない。こんなワクワク感をグループ社員と共有し、ニッタを世界に誇れる「ソフトマテリアル“複合化技術”のグローバルNo.1パートナー」にしていきます。

一方で、創業者の遺志を引き継ぎ、未来を創り出す青少年の教育に貢献するために「第18回日経エデュケーションチャレンジ」（詳しくはホームページをご覧ください）に協賛しました。ニッタは、このような社会との関係性も大切にしていきます。

社長就任時から始めている様々な部署、階層の社員とのランチミーティングは今も続けています。大きく変わることは、一朝一夕に成し遂げられることなく、日々の努力にあると確信しています。

ニッタはこれからも一步一步、後戻りできない改革を役職員一人丸となって進めてまいります。

『V2020』の実現に向けて 三大チャレンジを加速

三大チャレンジは、中長期経営計画『V2020』の期間を通じた基本戦略であり、継続した取り組みを実施する中で多くの成果を生んでいます。

新事業・新製品の創出と成長

「耐熱感圧センサシート」を2018年9月に上市

コア技術・応用技術と市場ニーズを軸に、お客様にとって価値ある製品の開発を進めています。この一例として、加熱・加圧中の機材使用環境の中で、圧力分布測定が可能なセンサシートを開発しました。当社は、圧力分布をリアルタイムに測定する面圧分布測定システムと、用途に合わせた多彩な機能・形状のセンサシートを開発・販売してきましたが、昨今、電気・電子部品業界、印刷業界などのお客様より、加熱・加圧中の機材使用環境下での精度の高い圧力分布測定へのご要望が高まっており、そのニーズにお応えしたものです。この新開発の「耐熱感圧センサシート」は、新たな独自製法により200°Cまでの高温環境下でも使用可能です。当社は、様々な産業のニーズに応じて「圧力分布の見える化」に貢献してまいります。



製品イメージ
※システムにはPCは含まれていません。

グローバルマネジメントの推進

Nitta Corporation India Pvt. Ltd. (以下NCI) 新工場開所式挙行

子会社のNCIが事業を展開するインド市場では、産業の発展につれて当社製品への需要が高まりつつあります。この状況に対応し、2017年4月より新工場への移転を進めてきましたが、この度、新工場が完成し、2018年6月12日に開所式を執り行いました。開所式には、NCI代表取締役のRavi Swaminathanを始め、当社代表取締役社長を含む役員3名、NCI従業員やお客様など約80名が参加し、インド式ランプの儀式、開運祈願を行った後、テープカットを行いました。その後、工場内設備の見学会や、NCI役員、マネージャーの紹介等を行い、関係者の皆様と一層の協力関係を図りました。当社グループは、このようにマーケットの成長に合わせた生産増強・販売力強化を世界で展開すると同時に、現地でのネットワークづくり、グローバル人材の育成など、グローバルマネジメントを推進していきます。



新工場外観



開所式の模様

トータルコスト競争力の向上

プロセスイノベーションを加速

トータルコスト競争力の向上を目指す取り組みとして、2015年より開始した間接部門の効率化を目指す「1/2運動」は、大きな成果を上げてきました。現在はこの活動の対象業務領域を広げ、全ての領域において「自工程完結」を推進しています。また、このように自工程完結が進む中で、前工程、自工程、後工程の連結がスムーズに行われるようになり、業務プロセス全体を射程に入れた大胆な業務改革（プロセスイノベーション）を今後、進めていきます。



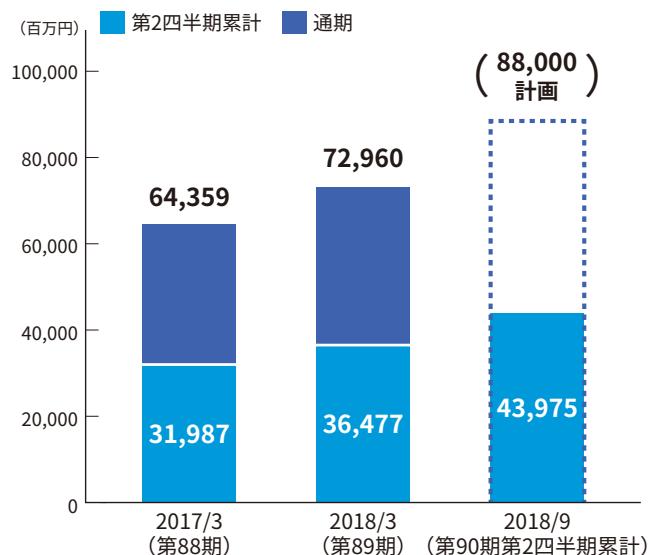
発表風景

連結財務ハイライト

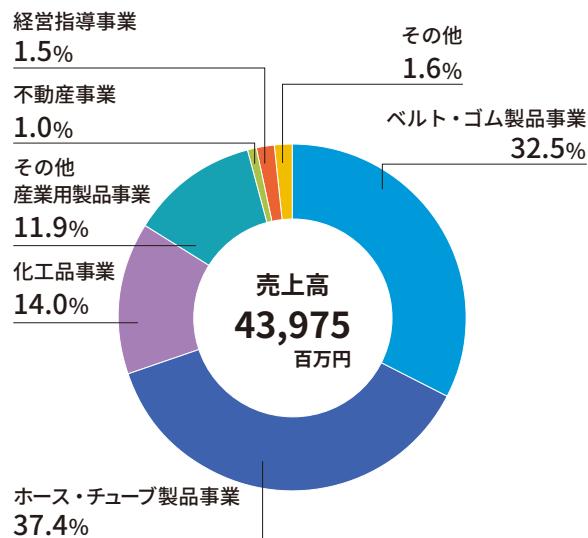
(百万円)

	2017/3 (第88期)	2018/3 (第89期)	2018/9 (第90期第2四半期累計)
売上高	64,359	72,960	43,975
営業利益	4,288	4,864	3,125
経常利益	9,660	11,507	6,226
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	7,886	9,163	4,903
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	271.26	314.74	168.28
総資産	112,344	130,804	132,033
純資産	91,247	101,152	104,081

■売上高の推移



■セグメント別構成比 (第90期第2四半期累計)



■会社概要

社名	ニッタ株式会社 (NITTA CORPORATION)
創業	明治18(1885)年3月
設立	昭和20(1945)年2月
資本金	8,060百万円
従業員数	2,937名(連結)

■役員

取締役及び監査役の体制

代表取締役社長	新田 元庸
取締役	井上 一美
取締役	芳村 恵司
取締役	石切山 靖順
取締役	小林 武史
取締役	吉田 隆彦
取締役(社外)	菅 充行
取締役(社外)	中尾 正孝
常勤監査役	藤田 浩治
常勤監査役	井上 清孝
監査役(社外)	森本 三義
監査役(社外)	手島 恒明

執行体制

社長	新田 元庸
常務執行役員	井上 一美
常務執行役員	小林 武史
常務執行役員	石切山 靖順
執行役員	芳村 恵司
執行役員	滋野 隆広
執行役員	島田 晴示
執行役員	篠田 重喜
執行役員	吉田 隆彦
執行役員	鈴木 弘樹
執行役員	萩原 豊浩
技監	奥井 敬造

■主要子会社

- 株式会社パワーテクノ
- ニッタテクノ株式会社
- 関西化工株式会社
- 協和工業株式会社
- ニッタ化工品株式会社
- ニッタコーポレーションオブアメリカ
- ニッタムアーメキシコ
- 韓国ニッタムアー株式会社
- ニッタムアー科技(常州)有限公司

■関連会社

- ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社
- ニッタ・ハース株式会社

■株式の状況

会社が発行する株式の総数	100,000,000 株
発行済株式総数	30,272,503 株
株主数	3,787 名

■大株主

新田ゴム工業株式会社	2,842,052 株
アイビーピー株式会社	2,301,000 株
合同会社オンガホールディングス	1,430,500 株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,415,100 株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,398,500 株
JP MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,134,300 株
ニッタ取引先持株会	939,200 株
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	637,240 株
ニッタ共栄会	588,200 株
新田 忠	498,000 株

※当社は自己株式1,014,814株を保有していますが、上記の大株主からは除いています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化以前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についての照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いします。

単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.nitta.co.jp/ir/index.html)
上場金融商品取引所	東京証券取引所

お問い合わせは、下記までご連絡ください。
〒556-0022 大阪市浪速区桜川四丁目4番26号
ニッタ株式会社 総務CSRグループ
TEL.06-6563-1211 <http://www.nitta.co.jp/>



本誌は、FSC 認証紙と植物油インキを使用しています。

株主優待制度のご案内

当社では下記の株主優待制度を実施しております。

当社株式を長期間保有いただいている株主様には、そのご支援にお応えするべく、「長期保有株主様向け優待制度」を設けております。何卒、よろしくご申し上げます。

■対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様

※優待品は例年11月上旬より順次発送致します

■優待内容

グループ会社製品および北海道の特産品

①保有期間3年以上の株主様

長期保有の株主様への優待制度

※毎年3月31日及び9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で連続7回以上記載されていること

100株以上 : 3,000円相当

1,000株以上 : 6,000円相当



優待品例 (6,000円相当)

②保有期間3年未満の株主様

100株以上 : 1,200円相当

1,000株以上 : 3,000円相当

※優待内容につきましては、予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。